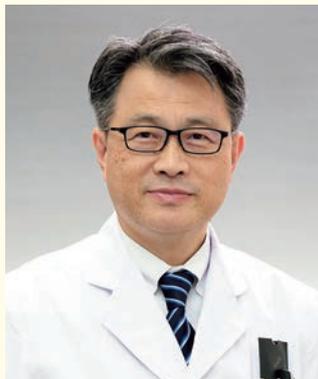


## 令和3年度を迎えて



COVID-19がわが国に襲来して一年が過ぎました。皆さまの医療施設におかれましてもCOVID-19感染症対応に追われた一年ではなかったかと拝察いたします。

久留米大学病院では、特定機能病院としての診療を継続し、その機能を維持しながらCOVID-19診療を重症者（呼吸器、ECMO管理）の受け入れを中心に対応を行ってまいりました。この2月からは第三波を受け、緩和ケア病棟をCOVID-19感染症中等症病床に変換しました。その後、緊急事態宣言が発出され、徐々に患者数は減少傾向にありますが、これまでの経験からは緊急事態宣言解除後の患者増、第四波襲来の可能性が否定できず、まだまだ気を抜くことはできません。

入院前患者全員のPCR検査、中等症患者診療は、全診療科の医師が交代で実施し、COVID-19陽性患者に対する正しい感染予防、PPE装着を対応できる臨床医が各診療科で育っています。これからもしくはらばくはコロナとの共存が考えられ、いわゆるwith Coronaの時代に向けた対応を実践しています。

このような中、3月から久留米地域においても医療従事者へのワクチン優先接種が開始され、4月からは高齢者から一般住民への接種が開始されます。ワクチン接種はこれまでの新型コロナ感染症対応に区切りをつけるもので、収束に向けた切り札と期待されています。そのためには、一人でも多くの方たちに接種を受けていただく必要があり、ワクチン接種の必要性の啓蒙も重要ではないかと考えています。

令和3年4月

久留米大学病院

病院長 志波 直人

## 病院執行部体制

病院長	志波 直人
副院長	鳥村 拓司
	田中 芳明
	渡邊 浩
	福本 義弘
	高須 修
	赤木 由人
	野村 政壽
	上野 知昭

## 私たちの理念

人と地球にやさしい、いのち生命を慈しむ医療

## 私たちのめざす医療

1. 患者中心の医療  
生命の尊さにもとづき、患者や家族の権利を尊重し、心のかよう医療を行います。
2. 共生の医療  
地球環境にやさしい共生の医療をめざします。
3. 高度で安全なチーム医療  
安全性を確保し、高度で専門的なチーム医療の確立をめざします。
4. 地域と共に歩む医療  
地域医療機関との連携を密にした、継続性のある医療を行います。
5. 優れた医療人の育成  
教育機関として高水準の医療技術と思いを備えた医療人の育成に努めます。

## TOPICS 1

### C型非代償性肝硬変の患者を対象とした肝臓再生療法について

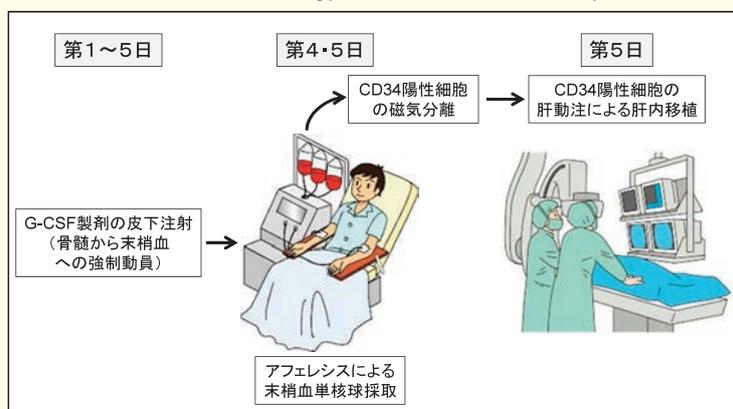
久留米大学病院 消化器病センター（消化器内科） 講師 中村 徹

当院消化器内科では、平成29年9月よりC型肝炎ウイルス感染が原因となる非代償性肝硬変の患者を対象とした「自家末梢血CD34陽性細胞の肝動脈からの投与による肝臓再生治療」を行っております。

私共が考案する治療法は、患者自身の血液中にある血管を作り出す細胞（自家末梢血CD34陽性細胞）を取り出し、肝臓に投与（移植）することで血管を再生し、肝硬変を治療することを目標としております。CD34陽性細胞は骨髄や血液中に存在する未分化な細胞で、血流障害を起こした臓器や組織に移植されると、血管を形成する細胞になる能力があると考えられています。この治療法による肝硬変の改善についてはいくつかの研究が行われており、動物実験や患者を対象とした研究で、新たな血管が作られることにより肝硬変の進行を抑え、肝機能の改善、浮腫や腹水が改善する可能性が報告されています。

現在、当臨床研究にご参加頂ける患者を募集しております。全国4病院との多施設共同で実施され、本研究に参加頂ける患者は全部で24名（割付比2：1＝CD34陽性細胞移植群16名：標準治療群8名）です。なお、本研究は日本医療研究開発機構（AMED）再生医療実用化研究事業の支援を受けて実施しております。もし本研究にご参加いただける患者がおられましたら、下記URLよりご連絡いただくと幸いです。

URL：<https://www.kurume-u.ac.jp/site/aro/saiseiryu.html>



## TOPICS 2

患者さんご紹介の際には「紹介予約センター」をご利用ください

### 予約専用フリーダイヤル

電話：0800-200-4897 FAX：0800-200-9489

※非通知設定されている場合は、頭に「186」をつけてください

### 紹介予約センター 直通

電話：0942-27-5673 FAX：0942-31-7897

※スマートフォン・携帯電話の場合は、こちらにお電話ください

## TOPICS 3

### 診療部長挨拶



久留米大学医学部 神経精神医学講座 主任教授 小曽根 基裕

令和2年11月より、神経精神医学講座主任教授を拝命しました小曽根基裕です。出身大学は東京慈恵会医科大学・平成元年卒業で、専門は精神医学、睡眠医学、産業医学です。

当講座は5つの研究班を有し、70名の医局員と300名規模の同門会員がごぞいます。睡眠専門外来を本邦で初めて設置し、また精神科急性期治療病棟を有するため他県からも多くの紹介患者が来院されます。

令和元年12月から猛威を奮っているCOVID-19は、長期化に伴い人々の生活様式を大いに様変わりさせ、人々の生き方の見直しが求められはじめています。その状況の下で令和2年4月末よりコロナ相談室長を拝命しました。睡眠障害は身体的・精神的健康維持に幅広く関わるため、精神医学・睡眠学を立脚点にこれからの地域医療および本学関係者への貢献をして参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

### 診療部長挨拶



久留米大学病院 小児科 教授 西小森 隆太

令和3年1月より久留米大学小児科 自己炎症性疾患診療担当教授を拝命致しました。専門領域はリウマチ膠原病、アレルギー、原発性免疫不全症と小児免疫アレルギー疾患です。自己炎症性疾患は、全身性炎症を繰り返し発熱に加え、関節・皮膚・腸・眼・骨などの様々な臓器に炎症を起こすことから、各診療科や地域の先生方と連携を図りながら、質の高い診療を実践していきたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

## TOPICS 4

5月上旬より開始

### 「診療費後払いサービス」と「診療待ち番号確認サービス」の運用開始について ～スマホアプリによる患者さんの利便性向上を目指します～

久留米大学病院では、患者さんの利便性向上を目的に、スマートフォンアプリを活用した「診療費後払いサービス」と「診療待ち番号確認サービス」の運用を5月上旬から開始する予定です。

「診療費後払い」は、診察前に患者さんが後払い利用申請を行うことで、診察終了後、会計計算を待たずにそのまま帰宅することが可能となるサービスです。支払いは、アプリのクレジットカード決済となりますが、領収書や診療明細書はアプリ内で確認できる仕組みとなっているため、領収書等を紛失する恐れもなくなります。

「診療待ち番号確認」は、受付番号の診察待ち状況をアプリ内で確認できるサービスです。患者さんは、診察までの待ち時間を有効に活用することができるのと同時に、待合スペース等の混雑緩和にも繋がります。

久留米大学病院では、これらのサービスを含め、引き続き患者さんの利便性向上に努めてまいります。

※正式な運用開始日やアプリの詳細等については、随時ホームページ等でお知らせする予定としています。



## 2021年度医療連携センタースタッフ紹介

### 連携事務担当

- ◆ 連携業務に関する情報提供・広報活動
- ◆ 紹介・逆紹介データ管理
- ◆ 関連医療機関連絡調整
- ◆ 入退院患者支援業務 ◆ 患者相談窓口



#### 前列左より

徳永容子(事務室長)、鹿毛 巖(患者相談窓口)  
甲斐田実香(事務)、櫻井麻衣佳(事務)

#### 後列左より

中島理世(クラーク)、内野千鶴(クラーク)  
堂本真由(クラーク)、西田千恵美(クラーク)  
塚本瑠香(クラーク)

### 紹介予約センター

- ◆ 紹介患者の外来診療予約



#### 左より

三浦恭子、大塚久美子、松隈美紀、池松友里那

### 入院前支援担当

- ◆ 病床管理(入退院状況把握・急患受入対応・ベッドコントロール)
- ◆ 入院前支援業務



#### 前列左より

中村寿賀子(NS)、黒田明子(NS)

#### 後列左より

藤澤さゆり(NS)、斎藤恭子(副主任看護師)  
軸丸 千恵(NS)



古賀真由美(副看護部長)、石橋紀子(看護師長)

### 【がん相談支援センター】

- ◆ がん相談、セカンドオピニオン外来調整

### 【認知症医療センター】(PSW 1名)

- ◆ 認知症に関する相談支援



#### 左より

副枝恵美(主任看護師)、青木正恵(MSW)  
井上知子(PSW)

### 退院支援・医療福祉相談担当

- ◆ 退院支援(在宅・転院) ◆ 社会資源紹介、患者受診・受療援助 ◆ 院内外からの医療相談
- ◆ 経済的・心理的・社会的問題等の解決援助



深川千寿子  
(主任看護師)



吉原真由美  
(NS)



菱口慶子  
(NS)



野中公美子  
(NS)



北原和美  
(NS)



田野麻紀子  
(NS)



村岡久美子  
(NS)



花島りか  
(MSW)



永瀬りえ  
(MSW)



神代 潤  
(MSW)



今給黎 陽  
(MSW)



大森しほる  
(MSW)

今年度も引き続き、よろしくお願いたします。